

長松小学校 学校だより

R7年7月8日発行

# えがおいっぱい41号

## 保護者さまよりお便りいただきました～夏のプールについて～

長松小校長先生へ

こんにちは。生徒の親です。いつもありがとうございます。お世話になっています。今年度唐津市中瀬プールが運営休止と聞きました。川や海遊びも子どもたちだけでは危険です。7年前長松小では、プール開放をされていました。先生方も働き方改革等あると思いますし、暑いですし、可能な限りでいいですので、プール開放を検討していただけないでしょうか。どうぞよろしくお願ひします。  
匿名保護者(原文のまま)

上記のお便りをいただいて、すぐにPTA執行部様と共有しました。7年前も開放はPTAで行っていたと思います。PTA予算より、監視員代金、プールの投薬代金、諸費用を支払って、夏休みの間プールを借りてある経緯があります。

ただこれもコロナ禍で中止となりました。その後、プール開放されず現在に至っています。



実は1番の課題は「水温」にあります。

今も連日、水温と戦っています。プール内でも熱中症が起こるからです。簡単に言うとお風呂に2時間近く入ると脱水します。全く同じでプール内でも熱中症になります。ポイントは水温にあります。

気温と水温をたして65度以上だと屋外プールでは水泳禁止です。

例えば気温33度水温33度だと、たすと66度となり、水泳禁止となります。気温33度なんてまだまだの暑さで、水温は30度以上が常になります。

つまり以前と比べて、気温があがり真夏の外プールでは運営が難しいということです。では民間の屋外プールはどうしているかというと、水温の調整を行っているはずで、流れるプールであったり、常に水を加えたりしています。

学校の循環機械は、老朽化もあり今の温度あたりが運営の限界と思います。気温が35度超す場合は、もう水泳自体ができなくなります。



子どもたちだけで自由にいく場所がない・・・確かにそうです。

なんとかしてやりたいものの、お湯のようになるプールでは、泳げなくなるが現状です。居場所作り、なんとか知恵をしぼりたいところですが・・・

異常気象と遊泳の物理的限界があり、開放自体が厳しい現状を記しました。